

<建設業会計1級(原価計算) ミニテスト13>総合原価計算の基礎

【問題】

徳島建設では第1工程および第2工程を利用して仮設用パイプの製造を行っている、次の資料により累加法による工程別総合原価計算表を完成しなさい。なお、直接材料は、製造の始めに全て投入される。また期末仕掛品の評価は平均法による。計算の過程において端数が生じた場合は円未満を四捨五入すること。

	第1工程	第2工程		第1工程	第2工程
期首仕掛品			期末仕掛品		
直接材料費	60,000円	—	数量	200個	250個
加工費	25,000円	76,000円	作業進捗率	50%	60%
前工程費	—	109,000円	完成数量	1,000個	900個

※第1工程の完成品はすべて第2工程に振り替えられた。

【解答】

工程別総合原価計算表

(単位：円)

摘要	第1工程	第2工程	合計
当期製造費用			
直接材料費	420,000	—	420,000
加工費	250,000	218,000	468,000
計	670,000	218,000	888,000
期首仕掛品原価	85,000	185,000	270,000
前工程費	—	( 650,000 )	( 650,000 )
計	( 755,000 )	( 1,053,000 )	( 1,808,000 )
期末仕掛品原価	( 105,000 )	( 207,000 )	( 312,000 )
完成品原価	( 650,000 )	( 846,000 )	( 1,496,000 )
完成品数量	1,000個	900個	—
単位原価	( @650 )	( @940 )	—